

ダイワ米国リート・プラス

(毎月分配型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし
(年2回決算型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし

運用報告書(全体版)

毎月分配型	第82期 (決算日 2023年 3月27日)
	第83期 (決算日 2023年 4月26日)
	第84期 (決算日 2023年 5月26日)
	第85期 (決算日 2023年 6月26日)
	第86期 (決算日 2023年 7月26日)
年2回決算型	第87期 (決算日 2023年 8月28日)
	第15期 (決算日 2023年 8月28日)
(作成対象期間 2023年 2月28日～2023年 8月28日)	

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	2016年 3月 1日～2026年 2月26日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(米ドル建)	
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3292>
<3293>
<5692>
<5693>

（毎月分配型）為替ヘッジあり

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
58期末 (2021年 3月26日)	8,621	100	2.4	99.0	13,327
59期末 (2021年 4月26日)	9,210	100	8.0	98.0	13,626
60期末 (2021年 5月26日)	9,267	100	1.7	97.5	12,680
61期末 (2021年 6月28日)	9,556	100	4.2	99.9	12,384
62期末 (2021年 7月26日)	9,702	100	2.6	99.2	11,416
63期末 (2021年 8月26日)	9,592	110	0.0	97.6	10,559
64期末 (2021年 9月27日)	9,478	110	△	98.0	9,616
65期末 (2021年10月26日)	9,803	110	4.6	98.8	9,601
66期末 (2021年11月26日)	9,763	110	0.7	97.2	9,004
67期末 (2021年12月27日)	9,818	110	1.7	98.1	8,629
68期末 (2022年 1月26日)	9,057	110	△	98.4	7,816
69期末 (2022年 2月28日)	8,733	110	△	99.2	7,352
70期末 (2022年 3月28日)	8,821	110	2.3	98.9	7,290
71期末 (2022年 4月26日)	9,005	110	3.3	95.3	6,814
72期末 (2022年 5月26日)	7,642	110	△	98.0	5,391
73期末 (2022年 6月27日)	7,189	110	△	96.3	5,099
74期末 (2022年 7月26日)	7,214	110	1.9	97.3	5,280
75期末 (2022年 8月26日)	7,426	110	4.5	98.5	5,585
76期末 (2022年 9月26日)	6,279	110	△	103.6	4,762
77期末 (2022年10月26日)	5,800	110	△	98.1	4,378
78期末 (2022年11月28日)	6,153	110	8.0	96.6	4,817
79期末 (2022年12月26日)	5,854	80	△	97.9	4,625
80期末 (2023年 1月26日)	6,198	80	7.2	98.1	4,908
81期末 (2023年 2月27日)	5,885	80	△	99.9	4,830
82期末 (2023年 3月27日)	5,344	80	△	96.3	4,370
83期末 (2023年 4月26日)	5,452	80	3.5	98.1	4,408
84期末 (2023年 5月26日)	5,127	80	△	98.7	4,047
85期末 (2023年 6月26日)	5,215	60	2.9	103.0	3,998
86期末 (2023年 7月26日)	5,592	60	8.4	97.4	4,354
87期末 (2023年 8月28日)	5,171	60	△	99.4	3,988

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

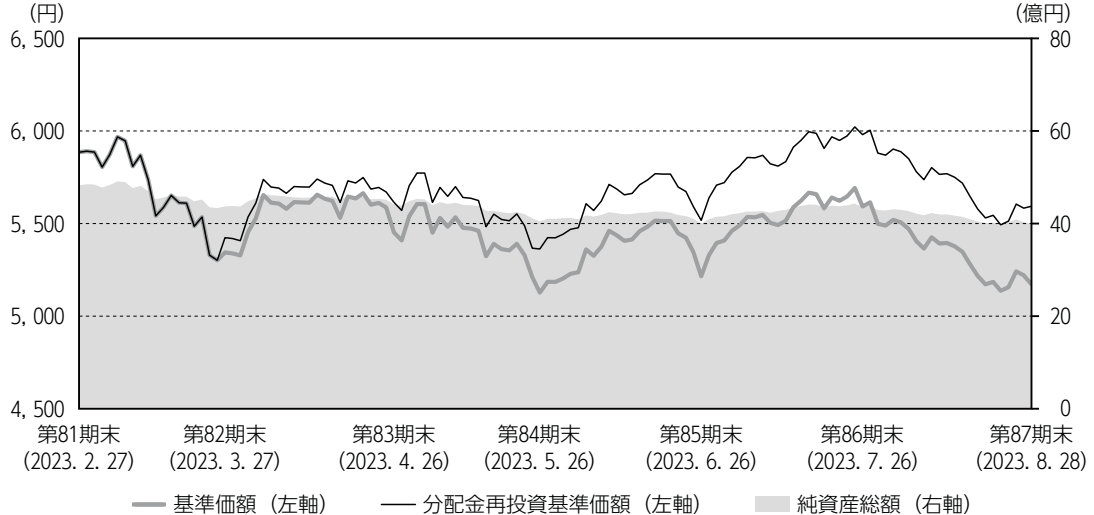
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第82期首：5,885円

第87期末：5,171円（既払分配金420円）

騰落率：△5.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローンは上昇したものの、米国リートが下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比 債 率 %
		円	騰 落 率 %	
第82期	(期首) 2023年 2月27日	5,885	—	99.9
	2月末	5,891	0.1	99.7
	(期末) 2023年 3月27日	5,424	△ 7.8	96.3
第83期	(期首) 2023年 3月27日	5,344	—	96.3
	3月末	5,528	3.4	100.3
	(期末) 2023年 4月26日	5,532	3.5	98.1
第84期	(期首) 2023年 4月26日	5,452	—	98.1
	4月末	5,539	1.6	98.3
	(期末) 2023年 5月26日	5,207	△ 4.5	98.7
第85期	(期首) 2023年 5月26日	5,127	—	98.7
	5月末	5,203	1.5	98.5
	(期末) 2023年 6月26日	5,275	2.9	103.0
第86期	(期首) 2023年 6月26日	5,215	—	103.0
	6月末	5,461	4.7	99.3
	(期末) 2023年 7月26日	5,652	8.4	97.4
第87期	(期首) 2023年 7月26日	5,592	—	97.4
	7月末	5,489	△ 1.8	97.2
	(期末) 2023年 8月28日	5,231	△ 6.5	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

■米国リート市況

米国リート市況は、下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B（米国連邦準備制度理事会）による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国は政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を4.50～4.75%から5.25～5.50%に上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

（ご参考）「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率(%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

（注1）上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

（注2）比率は「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2023年2月28日 ～2023年3月27日	2023年3月28日 ～2023年4月26日	2023年4月27日 ～2023年5月26日	2023年5月27日 ～2023年6月26日	2023年6月27日 ～2023年7月26日	2023年7月27日 ～2023年8月28日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	60	60	60
対基準価額比率 (%)	1.47	1.45	1.54	1.14	1.06	1.15
当期の収益 (円)	68	73	77	60	60	60
当期の収益以外 (円)	11	7	2	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,232	3,225	3,223	3,232	3,246	3,260

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 68.45円	✓ 73.00円	✓ 77.75円	✓ 68.94円	✓ 73.10円	✓ 72.71円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 3,240.40	✓ 3,232.63	✓ 3,225.72	3,223.52	3,224.68	3,225.77
(d) 分配準備積立金	✓ 3.41	0.00	0.00	0.00	8.77	21.59
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,312.28	3,305.63	3,303.48	3,292.46	3,306.56	3,320.08
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,232.28	3,225.63	3,223.48	3,232.46	3,246.56	3,260.08

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第82期～第87期 (2023. 2. 28～2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0. 617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5, 489円です。
（投 信 会 社）	(10)	(0. 191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(22)	(0. 410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0. 006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	34	0. 626	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

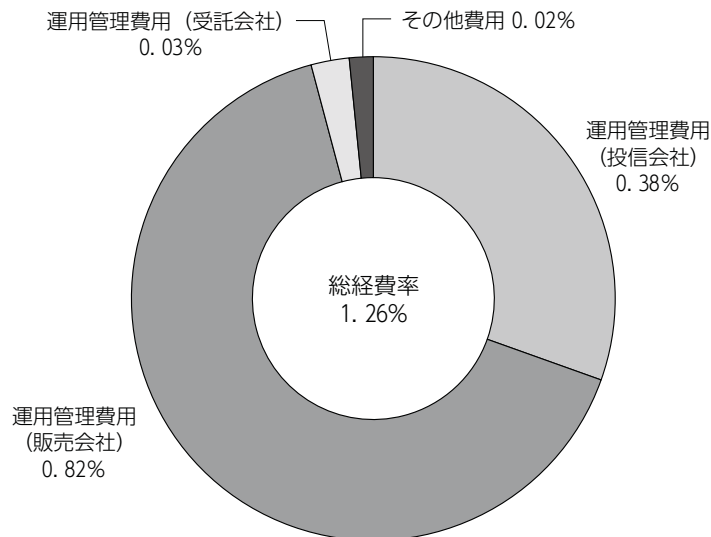
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。
純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

決算期			第 82 期 ～ 第 87 期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 2,936	千アメリカ・ドル 7,952 ()

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

第 82 期 ～ 第 87 期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	千円 407,131	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	千円 1,118,083

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	第 87 期 末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちB B格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 47,040	千アメリカ・ドル 27,062	千円 3,965,952	% 99.4	% —	% —	% —	% 99.4

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 87 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 47,040	千アメリカ・ドル 27,062	千円 3,965,952	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	第 87 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,965,952	93.0
コール・ローン等、その他	298,841	7.0
投資信託財産総額	4,264,793	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 第87期末における外貨建純資産（4,195,155千円）の投資信託財産総額（4,264,793千円）に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月27日)、(2023年4月26日)、(2023年5月26日)、(2023年6月26日)、(2023年7月26日)、(2023年8月28日) 現在

項 目	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末
(A) 資産	8,639,029,675円	9,092,568,563円	8,430,312,386円	8,372,183,201円	8,659,435,078円	8,379,660,098円
コール・ローン等	128,592,616	144,558,140	149,810,003	105,924,492	111,145,326	162,696,506
公社債（評価額）	4,207,203,320	4,326,788,809	3,996,184,472	4,117,857,653	4,243,937,436	3,965,952,514
未収入金	4,297,849,973	4,615,449,986	4,278,133,323	4,147,586,623	4,303,139,321	4,249,410,757
その他未収収益	5,383,766	5,771,628	6,184,588	814,433	1,212,995	1,600,321
(B) 負債	4,268,107,304	4,684,044,109	4,382,844,153	4,373,701,094	4,304,443,763	4,390,993,343
未払金	4,198,217,508	4,611,636,495	4,314,509,411	4,313,785,001	4,253,196,779	4,283,864,555
未払収益分配金	65,427,642	64,690,491	63,156,923	46,003,139	46,724,860	46,278,524
未払解約金	—	3,028,344	614,978	9,409,886	1,686	56,000,849
未払信託報酬	4,432,745	4,628,661	4,473,049	4,384,193	4,372,554	4,670,548
その他未払費用	29,409	60,118	89,792	118,875	147,884	178,867
(C) 純資産総額（A－B）	4,370,922,371	4,408,524,454	4,047,468,233	3,998,482,107	4,354,991,315	3,988,666,755
元本	8,178,455,320	8,086,311,413	7,894,615,485	7,667,189,984	7,787,476,671	7,713,087,366
次期繰越損益金	△ 3,807,532,949	△ 3,677,786,959	△ 3,847,147,252	△ 3,668,707,877	△ 3,432,485,356	△ 3,724,420,611
(D) 受益権総口数	8,178,455,320口	8,086,311,413口	7,894,615,485口	7,667,189,984口	7,787,476,671口	7,713,087,366口
1万口当り基準価額（C/D）	5,344円	5,452円	5,127円	5,215円	5,592円	5,171円

* 当作成期首における元本額は8,208,121,477円、当作成期間（第82期～第87期）中における追加設定元本額は460,412,283円、同解約元本額は955,446,394円です。

* 第87期末の計算口数当りの純資産額は5,171円です。

* 第87期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,724,420,611円です。

■損益の状況

第82期 自2023年2月28日 至2023年3月27日 第84期 自2023年4月27日 至2023年5月26日 第86期 自2023年6月27日 至2023年7月26日
 第83期 自2023年3月28日 至2023年4月26日 第85期 自2023年5月27日 至2023年6月26日 第87期 自2023年7月27日 至2023年8月28日

項目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(A) 配当等収益	60,505,151円	60,883,400円	65,943,976円	54,947,608円	57,676,491円	60,844,411円
受取利息	60,005,592	60,503,690	65,543,833	54,556,565	57,282,127	60,468,709
その他収益金	500,346	380,265	403,419	395,122	397,136	379,256
支払利息	△ 787	△ 555	△ 3,276	△ 4,079	△ 2,772	△ 3,554
(B) 有価証券売買損益	△ 431,954,550	△ 94,281,623	△ 254,765,055	△ 62,997,434	△ 283,477,733	△ 330,845,180
売買益	177,692,601	232,385,241	196,961,752	233,340,463	354,385,718	171,721,277
売買損	△ 609,647,151	△ 138,103,618	△ 451,726,807	△ 170,343,029	△ 70,907,985	△ 502,566,457
(C) 信託報酬等	△ 4,518,341	△ 4,714,977	△ 4,558,467	△ 4,470,372	△ 4,405,851	△ 4,756,233
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 375,967,740	△ 150,450,046	△ 193,379,546	△ 113,474,670	△ 336,748,373	△ 274,757,002
(E) 前期繰越損益金	△ 2,209,968,233	△ 2,588,281,099	△ 2,425,536,368	△ 2,593,108,541	△ 2,514,278,545	△ 2,174,618,453
(F) 追加信託差損益金	△ 1,156,169,334	△ 1,175,265,415	△ 1,165,074,415	△ 1,143,070,867	△ 1,208,230,324	△ 1,228,766,632
(配当等相当額)	(2,650,154,823)	(2,614,006,553)	(2,546,588,547)	(2,471,534,119)	(2,511,219,123)	(2,488,066,538)
(売買損益相当額)	(△ 3,806,324,157)	(△ 3,789,271,968)	(△ 3,711,662,962)	(△ 3,614,604,986)	(△ 3,719,449,447)	(△ 3,716,833,170)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 3,742,105,307	△ 3,613,096,468	△ 3,783,990,329	△ 3,622,704,738	△ 3,385,760,496	△ 3,678,142,087
(H) 収益分配金	△ 65,427,642	△ 64,690,491	△ 63,156,923	△ 46,003,139	△ 46,724,860	△ 46,278,524
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,807,532,949	△ 3,677,786,959	△ 3,847,147,252	△ 3,668,707,877	△ 3,432,485,356	△ 3,724,420,611
追加信託差損益金	△ 1,162,818,112	△ 1,180,922,663	△ 1,166,845,829	△ 1,143,070,867	△ 1,208,230,324	△ 1,228,766,632
(配当等相当額)	(2,643,506,045)	(2,608,349,305)	(2,544,817,133)	(2,471,534,119)	(2,511,219,123)	(2,488,066,538)
(売買損益相当額)	(△ 3,806,324,157)	(△ 3,789,271,968)	(△ 3,711,662,962)	(△ 3,614,604,986)	(△ 3,719,449,447)	(△ 3,716,833,170)
分配準備積立金	—	—	—	6,861,723	17,037,465	26,466,908
繰越損益金	△ 2,644,714,837	△ 2,496,864,296	△ 2,680,301,423	△ 2,532,498,733	△ 2,241,292,497	△ 2,522,120,887

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(a) 経費控除後の配当等収益	55,986,810円	59,033,243円	61,385,509円	52,864,862円	56,931,462円	56,088,178円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,650,154,823	2,614,006,553	2,546,588,547	2,471,534,119	2,511,219,123	2,488,066,538
(d) 分配準備積立金	2,792,054	0	0	0	6,830,863	16,657,254
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,708,933,687	2,673,039,796	2,607,974,056	2,524,398,981	2,574,981,448	2,560,811,970
(f) 分配金	65,427,642	64,690,491	63,156,923	46,003,139	46,724,860	46,278,524
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,643,506,045	2,608,349,305	2,544,817,133	2,478,395,842	2,528,256,588	2,514,533,446
(h) 受益権総口数	8,178,455,320□	8,086,311,413□	7,894,615,485□	7,667,189,984□	7,787,476,671□	7,713,087,366□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金（税込み）	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	80円	80円	80円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（毎月分配型）為替ヘッジなし

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率		
58期末 (2021年 3月26日)	円 8,663	円 110		% 5.4	% 98.9	百万円 91,330
59期末 (2021年 4月26日)	9,138	110		6.8	99.1	92,921
60期末 (2021年 5月26日)	9,261	110		2.5	99.0	89,615
61期末 (2021年 6月28日)	9,712	110		6.1	99.4	87,755
62期末 (2021年 7月26日)	9,844	110		2.5	99.3	84,053
63期末 (2021年 8月26日)	9,687	120	△	0.4	99.1	77,456
64期末 (2021年 9月27日)	9,627	120		0.6	98.7	74,525
65期末 (2021年10月26日)	10,229	120		7.5	98.9	76,205
66期末 (2021年11月26日)	10,280	120		1.7	99.2	73,423
67期末 (2021年12月27日)	10,291	120		1.3	98.8	71,100
68期末 (2022年 1月26日)	9,438	120	△	7.1	98.9	64,022
69期末 (2022年 2月28日)	9,234	120	△	0.9	99.1	61,593
70期末 (2022年 3月28日)	9,853	120		8.0	98.8	65,494
71期末 (2022年 4月26日)	10,507	120		7.9	98.9	68,326
72期末 (2022年 5月26日)	8,925	120	△	13.9	98.5	57,618
73期末 (2022年 6月27日)	8,913	120		1.2	98.2	57,333
74期末 (2022年 7月26日)	9,095	120		3.4	98.0	58,557
75期末 (2022年 8月26日)	9,434	120		5.0	99.6	61,671
76期末 (2022年 9月26日)	8,489	120	△	8.7	98.0	55,422
77期末 (2022年10月26日)	8,158	120	△	2.5	98.4	53,580
78期末 (2022年11月28日)	8,199	120		2.0	98.2	53,546
79期末 (2022年12月26日)	7,418	120	△	8.1	98.5	48,715
80期末 (2023年 1月26日)	7,686	120		5.2	98.3	50,217
81期末 (2023年 2月27日)	7,721	120		2.0	98.5	51,185
82期末 (2023年 3月27日)	6,736	120	△	11.2	99.1	45,122
83期末 (2023年 4月26日)	7,045	120		6.4	98.3	47,648
84期末 (2023年 5月26日)	6,947	120		0.3	97.5	47,561
85期末 (2023年 6月26日)	7,290	80		6.1	98.6	50,293
86期末 (2023年 7月26日)	7,723	80		7.0	99.3	52,226
87期末 (2023年 8月28日)	7,466	80	△	2.3	98.7	49,786

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

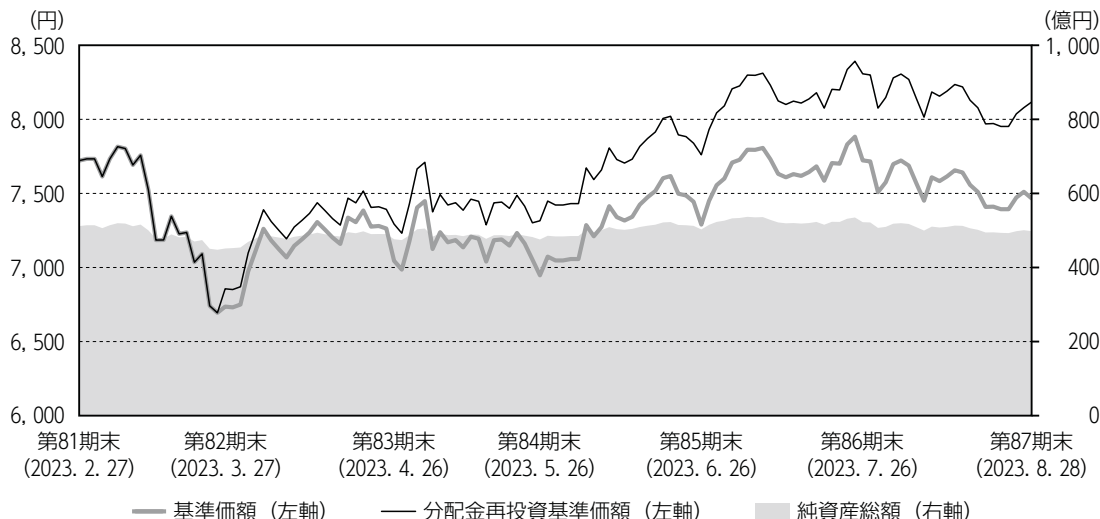
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第82期首：7,721円

第87期末：7,466円（既払分配金600円）

騰落率：5.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国リートは下落したものの、米国バンクローンが上昇したことや円安が進行したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	
第82期	(期首) 2023年 2月27日	7,721	—	98.5
	2月末	7,733	0.2	98.2
	(期末) 2023年 3月27日	6,856	△ 11.2	99.1
第83期	(期首) 2023年 3月27日	6,736	—	99.1
	3月末	7,119	5.7	98.8
	(期末) 2023年 4月26日	7,165	6.4	98.3
第84期	(期首) 2023年 4月26日	7,045	—	98.3
	4月末	7,176	1.9	98.0
	(期末) 2023年 5月26日	7,067	0.3	97.5
第85期	(期首) 2023年 5月26日	6,947	—	97.5
	5月末	7,048	1.5	97.2
	(期末) 2023年 6月26日	7,370	6.1	98.6
第86期	(期首) 2023年 6月26日	7,290	—	98.6
	6月末	7,708	5.7	98.5
	(期末) 2023年 7月26日	7,803	7.0	99.3
第87期	(期首) 2023年 7月26日	7,723	—	99.3
	7月末	7,575	△ 1.9	98.7
	(期末) 2023年 8月28日	7,546	△ 2.3	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

■米国リート市況

米国リート市況は、下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B（米国連邦準備制度理事会）による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2023年3月にかけては、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことやリスク回避による円買い需要の高まりなどから、下落（円高）しました。4月には、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、4月末にかけては、次回のF O M C（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、6月末にかけて米ドルは対円で

の上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて、米ドルは対円で下落しました。8月に入り、堅調な経済指標などを背景に米国金利が上昇するに連れ、当作成期末にかけて米ドルは対円で上昇基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

（ご参考）「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

(注1) 上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2023年2月28日 ～2023年3月27日	2023年3月28日 ～2023年4月26日	2023年4月27日 ～2023年5月26日	2023年5月27日 ～2023年6月26日	2023年6月27日 ～2023年7月26日	2023年7月27日 ～2023年8月26日
当期分配金(税込み) (円)	120	120	120	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.75	1.67	1.70	1.09	1.03	1.06
当期の収益 (円)	87	92	97	80	80	80
当期の収益以外 (円)	32	27	22	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,015	2,989	2,969	2,983	3,007	3,029

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 87.46円	✓ 92.86円	✓ 97.59円	✓ 92.64円	✓ 103.55円	✓ 101.45円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,680.89	2,689.12	2,700.66	2,707.95	2,711.71	2,715.14
(d) 分配準備積立金	✓ 367.52	✓ 327.80	✓ 291.39	262.95	272.37	293.13
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,135.88	3,109.79	3,089.65	3,063.56	3,087.65	3,109.72
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,015.88	2,989.79	2,969.65	2,983.56	3,007.65	3,029.72

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M
 トラスト 2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラス」の値動きに80%程度連動する
 債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実
 質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第82期～第87期 (2023. 2. 28～2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0. 617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7, 376円です。
（投 信 会 社）	(14)	(0. 191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(30)	(0. 410)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 007	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0. 005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	46	0. 624	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

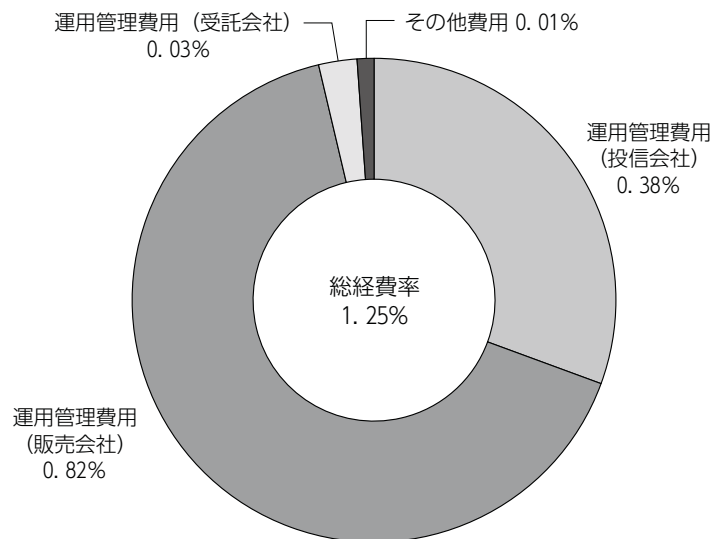
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。
純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

決 算 期			第 82 期 ～ 第 87 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 28,546	千アメリカ・ドル 28,257 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

第 82 期 ～ 第 87 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	千円 4,010,300	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	千円 3,981,195

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区 分	額面金額	評 価 額		組入比率	うちB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 582,920	千アメリカ・ドル 335,353	千円 49,146,110	% 98.7	% —	% —	% —	% 98.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 87 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 582,920	千アメリカ・ドル 335,353	千円 49,146,110	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	第 87 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	49,146,110	97.4
コール・ローン等、その他	1,337,529	2.6
投資信託財産総額	50,483,639	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 第87期末における外貨建純資産（50,160,796千円）の投資信託財産総額（50,483,639千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月27日)、(2023年4月26日)、(2023年5月26日)、(2023年6月26日)、(2023年7月26日)、(2023年8月28日) 現在

項 目	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末
(A) 資産	45,983,544,565円	48,543,691,411円	48,516,700,279円	50,959,797,935円	53,110,810,275円	51,357,154,315円
コール・ローン等	1,200,264,942	1,652,334,240	2,091,065,017	1,368,142,248	1,222,260,252	1,319,158,821
公社債（評価額）	44,724,828,665	46,828,690,366	46,358,575,163	49,582,839,785	51,875,009,470	49,146,110,528
未収入金	—	—	—	—	—	873,514,620
その他未収収益	58,450,958	62,666,805	67,060,099	8,815,902	13,540,553	18,370,346
(B) 負債	860,740,914	895,380,037	955,534,957	666,307,639	883,965,892	1,570,824,673
未払金	—	—	—	—	—	879,160,800
未払収益分配金	803,882,125	811,662,015	821,514,468	551,952,235	541,022,522	533,439,903
未払解約金	9,906,525	34,198,411	83,585,055	60,916,415	288,554,455	100,369,265
未払信託報酬	46,790,788	49,177,017	49,911,471	52,719,810	53,491,496	56,758,700
その他未払費用	161,476	342,594	523,963	719,179	897,419	1,096,005
(C) 純資産総額（A－B）	45,122,803,651	47,648,311,374	47,561,165,322	50,293,490,296	52,226,844,383	49,786,329,642
元本	66,990,177,115	67,638,501,267	68,459,539,041	68,994,029,440	67,627,815,304	66,679,987,962
次期繰越損益金	△ 21,867,373,464	△ 19,990,189,893	△ 20,898,373,719	△ 18,700,539,144	△ 15,400,970,921	△ 16,893,658,320
(D) 受益権総口数	66,990,177,115口	67,638,501,267口	68,459,539,041口	68,994,029,440口	67,627,815,304口	66,679,987,962口
1万口当り基準価額（C/D）	6,736円	7,045円	6,947円	7,290円	7,723円	7,466円

* 当作成期首における元本額は66,292,650,050円、当作成期間（第82期～第87期）中における追加設定元本額は7,810,890,174円、同解約元本額は7,423,552,262円です。

* 第87期末の計算口数当りの純資産額は7,466円です。

* 第87期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は16,893,658,320円です。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

■損益の状況

	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
第82期 自2023年 2月28日 至2023年 3月27日			第84期 自2023年 4月27日 至2023年 5月26日		第86期 自2023年 6月27日 至2023年 7月26日	
第83期 自2023年 3月28日 至2023年 4月26日			第85期 自2023年 5月27日 至2023年 6月26日		第87期 自2023年 7月27日 至2023年 8月28日	
項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(A) 配当等収益	633,334,787円	639,085,274円	718,703,560円	651,143,833円	711,243,734円	733,942,315円
受取利息	628,261,484	634,924,641	714,439,286	646,825,492	706,693,172	729,231,321
その他収益金	5,083,610	4,166,346	4,312,787	4,368,904	4,583,590	4,744,125
支払利息	△ 10,307	△ 5,713	△ 48,513	△ 50,563	△ 33,028	△ 33,131
(B) 有価証券売買損益	△ 6,340,561,581	△ 2,258,741,582	△ 534,177,523	△ 2,266,043,344	△ 2,790,189,569	△ 1,842,735,942
売買益	12,985,005	2,288,807,169	2,121,054,406	2,305,295,252	3,700,068,334	2,009,979,696
売買損	△ 6,353,546,586	△ 30,065,587	△ 2,655,231,929	△ 39,251,908	△ 909,878,765	△ 3,852,715,638
(C) 信託報酬等	△ 47,407,008	△ 49,821,013	△ 50,569,279	△ 53,408,198	△ 53,670,119	△ 57,450,632
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 5,754,633,802	△ 2,848,005,843	△ 133,956,758	△ 2,863,778,979	△ 3,447,763,184	△ 1,166,244,259
(E) 前期繰越損益金	△ 12,033,330,848	△ 18,369,133,997	△ 16,021,266,730	△ 16,461,473,779	△ 13,707,049,067	△ 10,547,980,332
(F) 追加信託差損益金	△ 3,275,526,689	△ 3,657,399,724	△ 4,189,549,279	△ 4,550,892,109	△ 4,600,662,516	△ 4,645,993,826
(配当等相当額)	(17,959,357,337)	(18,188,857,656)	(18,488,613,732)	(18,683,260,077)	(18,338,754,143)	(18,104,557,633)
(売買損益相当額)	(△ 21,234,884,026)	(△ 21,846,257,380)	(△ 22,678,163,011)	(△ 23,234,152,186)	(△ 22,939,416,659)	(△ 22,750,551,459)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 21,063,491,339	△ 19,178,527,878	△ 20,076,859,251	△ 18,148,586,909	△ 14,859,948,399	△ 16,360,218,417
(H) 収益分配金	△ 803,882,125	△ 811,662,015	△ 821,514,468	△ 551,952,235	△ 541,022,522	△ 533,439,903
次期繰越損益金 (G + H)	△ 21,867,373,464	△ 19,990,189,893	△ 20,898,373,719	△ 18,700,539,144	△ 15,400,970,921	△ 16,893,658,320
追加信託差損益金	△ 3,275,526,689	△ 3,657,399,724	△ 4,189,549,279	△ 4,550,892,109	△ 4,600,662,516	△ 4,645,993,826
(配当等相当額)	(17,959,357,337)	(18,188,857,656)	(18,488,613,732)	(18,683,260,077)	(18,338,754,143)	(18,104,557,633)
(売買損益相当額)	(△ 21,234,884,026)	(△ 21,846,257,380)	(△ 22,678,163,011)	(△ 23,234,152,186)	(△ 22,939,416,659)	(△ 22,750,551,459)
分配準備積立金	2,244,127,651	2,033,682,845	1,841,513,212	1,901,523,083	2,001,364,656	2,097,658,469
繰越損益金	△ 20,835,974,426	△ 18,366,473,014	△ 18,550,337,652	△ 16,051,170,118	△ 12,801,673,061	△ 14,345,322,963

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(a) 経費控除後の配当等収益	585,927,779円	628,099,741円	668,134,281円	639,223,123円	700,343,333円	676,491,683円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	17,959,357,337	18,188,857,656	18,488,613,732	18,683,260,077	18,338,754,143	18,104,557,633
(d) 分配準備積立金	2,462,081,997	2,217,245,119	1,994,893,399	1,814,252,195	1,842,043,845	1,954,606,689
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	21,007,367,113	21,034,202,516	21,151,641,412	21,136,735,395	20,881,141,321	20,735,656,005
(f) 分配金	803,882,125	811,662,015	821,514,468	551,952,235	541,022,522	533,439,903
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	20,203,484,988	20,222,540,501	20,330,126,944	20,584,783,160	20,340,118,799	20,202,216,102
(h) 受益権総口数	66,990,177,115口	67,638,501,267口	68,459,539,041口	68,994,029,440口	67,627,815,304口	66,679,987,962口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	120円	120円	120円	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率		
11期末 (2021年8月26日)	円 11,840	円 300		% 20.3	% 98.0	百万円 1,574
12期末 (2022年2月28日)	11,237	300	△	2.6	97.7	1,137
13期末 (2022年8月26日)	10,074	300	△	7.7	98.5	946
14期末 (2023年2月27日)	8,572	200	△	12.9	100.1	937
15期末 (2023年8月28日)	8,041	100	△	5.0	99.6	756

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

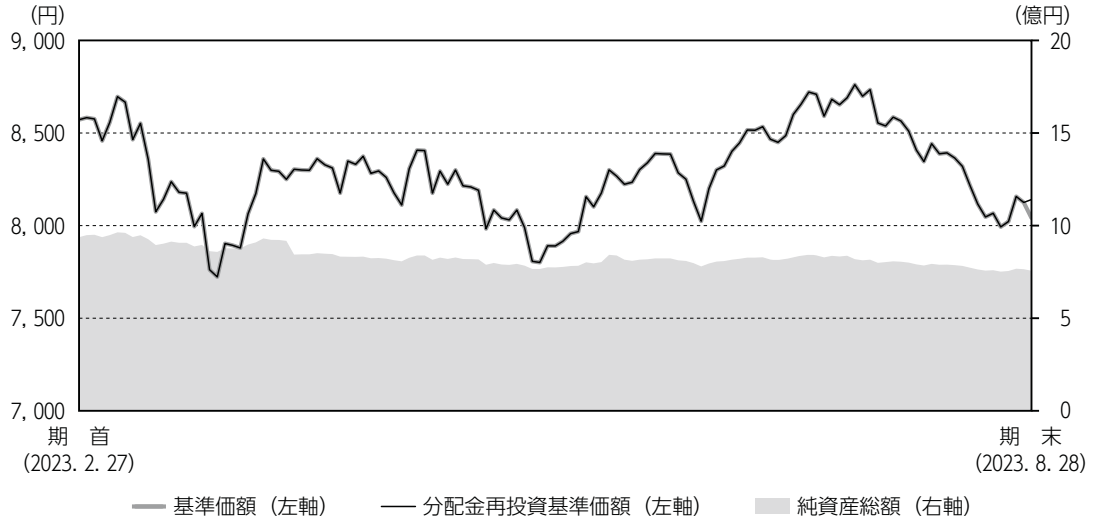
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：8,572円

期末：8,041円（分配金100円）

騰落率：△5.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローンは上昇したものの、米国リートが下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2023年 2月27日	8,572	—	100.1
2月末	8,583	0.1	99.1
3月末	8,173	△ 4.7	100.7
4月末	8,307	△ 3.1	98.6
5月末	7,916	△ 7.7	99.2
6月末	8,402	△ 2.0	99.0
7月末	8,538	△ 0.4	96.6
(期 末) 2023年 8月28日	8,141	△ 5.0	99.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

米国リート市況

米国リート市況は、下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B（米国連邦準備制度理事会）による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上高が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国は政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を4.50～4.75%から5.25～5.50%に上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

（ご参考）「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

(注1) 上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年2月28日 ～2023年8月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	100
対基準価額比率	（％）	1.23
当期の収益	（円）	100
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	5,203

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	651.90円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		3,264.63
(d) 分配準備積立金		1,386.52
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		5,303.06
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		5,203.06

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 2. 28~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.620%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,283円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.636	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

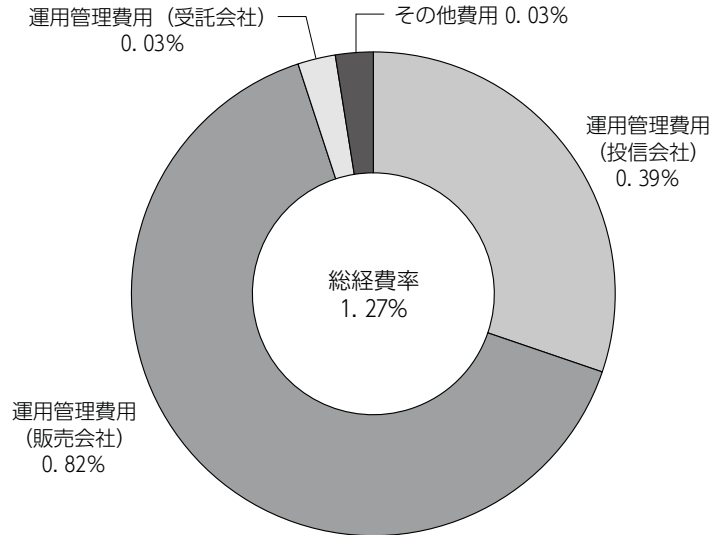
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

■売買および取引の状況

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル 841	千アメリカ・ドル 1,947
	社債券	()	()

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

当期		当	
買付		期	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	千円 116,292	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	千円 270,096

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
			外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	アメリカ	千アメリカ・ドル 8,940	千アメリカ・ドル 5,143	千円 753,733	% 99.6	% —	% —	% —	% 99.6

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	8,940	5,143	753,733	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	753,733	93.9
コール・ローン等、その他	49,152	6.1
投資信託財産総額	802,886	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(790,396千円)の投資信託財産総額(802,886千円)に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	1,578,164,069円
コール・ローン等	23,925,626
公社債（評価額）	753,733,322
未収入金	800,505,121
(B)負債	821,707,792
未払金	807,054,092
未払収益分配金	9,407,858
未払解約金	54,996
未払信託報酬	5,156,706
その他未払費用	34,140
(C)純資産総額（A－B）	756,456,277
元本	940,785,887
次期繰越損益金	△ 184,329,610
(D)受益権総口数	940,785,887口
1万口当り基準価額（C／D）	8,041円

* 期首における元本額は1,094,120,518円、当作成期間中における追加設定元本額は75,477,940円、同解約元本額は228,812,571円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,041円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は184,329,610円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月28日 至2023年8月28日

項 目	当 期
(A)配当等収益	66,620,801円
受取利息	66,226,756
その他収益金	397,410
支払利息	△ 3,365
(B)有価証券売却損益	△ 99,976,775
売買益	113,428,981
売買損	△ 213,405,756
(C)信託報酬等	△ 5,290,883
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△ 38,646,857
(E)前期繰越損益金	△ 164,676,966
(F)追加信託差損益金	28,402,071
(配当等相当額)	(307,132,440)
(売買損益相当額)	(△ 278,730,369)
(G)合計（D＋E＋F）	△ 174,921,752
(H)収益分配金	△ 9,407,858
次期繰越損益金（G＋H）	△ 184,329,610
追加信託差損益金	28,402,071
(配当等相当額)	(307,132,440)
(売買損益相当額)	(△ 278,730,369)
分配準備積立金	182,364,717
繰越損益金	△ 395,096,398

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	61,329,918円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	307,132,440
(d) 分配準備積立金	130,442,657
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	498,905,015
(f) 分配金	9,407,858
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	489,497,157
(h) 受益権総口数	940,785,887口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率		
11期末 (2021年 8月26日)	円 12,030	円 350	% 25.0	% 98.7	百万円 6,497
12期末 (2022年 2月28日)	11,996	350	2.6	98.7	5,248
13期末 (2022年 8月26日)	12,887	350	10.3	98.8	5,379
14期末 (2023年 2月27日)	11,228	350	△ 10.2	98.6	4,336
15期末 (2023年 8月28日)	11,442	350	5.0	99.3	4,296

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

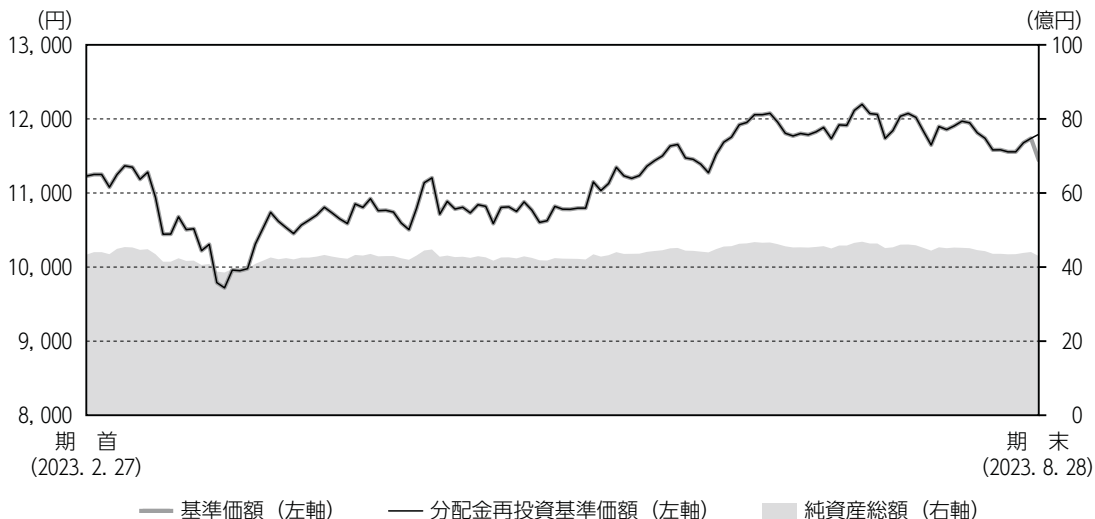
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：11,228円

期末：11,442円（分配金350円）

騰落率：5.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国リートは下落したものの、米国バンクローンが上昇したことや円安が進行したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジなし

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2023年 2月27日	円	%	%
	11,228	—	98.6
2月末	11,251	0.2	97.3
3月末	10,526	△ 6.3	99.0
4月末	10,791	△ 3.9	98.6
5月末	10,780	△ 4.0	99.1
6月末	11,922	6.2	99.0
7月末	11,843	5.5	99.1
(期 末) 2023年 8月28日	11,792	5.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

■米国リート市況

米国リート市況は、下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B（米国連邦準備制度理事会）による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2023年3月にかけては、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことやリスク回避による円買い需要の高まりなどから、下落（円高）しました。4月には、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、4月末にかけては、次回のF O M C（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、6月末にかけて米ドルは対円で

の上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて、米ドルは対円で下落しました。8月に入り、堅調な経済指標などを背景に米国金利が上昇するに連れ、当作成期末にかけて米ドルは対円で上昇基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス(※)」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

(ご参考) 「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率(%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

(注1) 上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年2月28日 ～2023年8月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	350
対基準価額比率	(%)	2.97
当期の収益	(円)	350
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,041

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	876.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		3,826.51
(d) 分配準備積立金		1,688.61
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		6,391.40
(f) 分配金		350.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		6,041.40

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する
債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実
質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 2. 28~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	69円	0.620%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,182円です。
（投 信 会 社）	(21)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(46)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	70	0.629	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

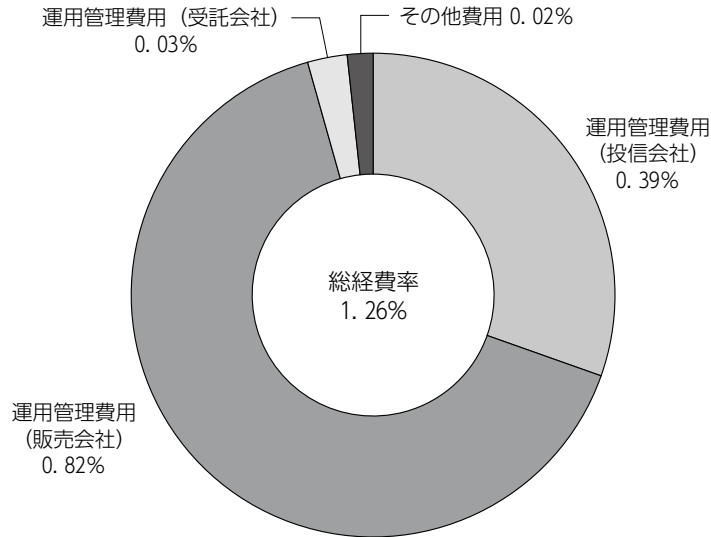
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジなし

■売買および取引の状況

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
		社債券	社債券
		2,223	1,369
		(—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	301,798	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	200,626

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	評価額		当 期 末		残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 50,590	千アメリカ・ドル 29,104	千円 4,265,253	% 99.3	% —	% —	% —	% 99.3

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	50,590	29,104	4,265,253	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,265,253	95.5
コール・ローン等、その他	201,557	4.5
投資信託財産総額	4,466,811	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（4,437,079千円）の投資信託財産総額（4,466,811千円）に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,626,955,948円
コール・ローン等	201,557,824
公社債（評価額）	4,265,253,777
未収入金	160,144,347
(B) 負債	330,907,928
未払金	161,179,480
未払収益分配金	131,409,126
未払解約金	11,071,262
未払信託報酬	27,068,490
その他未払費用	179,570
(C) 純資産総額（A－B）	4,296,048,020
元本	3,754,546,466
次期繰越損益金	541,501,554
(D) 受益権総口数	3,754,546,466口
1万口当り基準価額（C/D）	11,442円

* 期首における元本額は3,862,174,078円、当作成期間中における追加設定元本額は386,925,113円、同解約元本額は494,552,725円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,442円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月28日 至2023年8月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	356,484,658円
受取利息	354,115,333
その他収益金	2,382,773
支払利息	△ 13,448
(B) 有価証券売買損益	△ 112,707,060
売買益	345,369,730
売買損	△ 458,076,790
(C) 信託報酬等	△ 27,483,429
(D) 当期損益金（A+B+C）	216,294,169
(E) 前期繰越損益金	△ 45,353,758
(F) 追加信託差損益金	501,970,269
(配当等相当額)	(1,436,682,001)
(売買損益相当額)	(△ 934,711,732)
(G) 合計（D+E+F）	672,910,680
(H) 収益分配金	△ 131,409,126
次期繰越損益金（G+H）	541,501,554
追加信託差損益金	501,970,269
(配当等相当額)	(1,436,682,001)
(売買損益相当額)	(△ 934,711,732)
分配準備積立金	831,591,690
繰越損益金	△ 792,060,405

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	329,001,229円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,436,682,001
(d) 分配準備積立金	633,999,587
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,399,682,817
(f) 分配金	131,409,126
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,268,273,691
(h) 受益権総口数	3,754,546,466口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）

350円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。